

氏名	石川雅巳
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第2946号
学位授与の日付	平成7年12月31日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	エンフルランの肝ミクロソーム中チトクロームP-450 に及ぼす影響
論文審査委員	教授 辻 孝夫 教授 産賀 敏彦 教授 五味田 裕

### 学位論文内容の要旨

エンフルランの肝チトクロームP-450(P-450)に及ぼす影響を調べた。フェノバルビタールまたは、ピリジンで前処置した雄性ラットを、24時間絶食し、10%または、21%酸素下で1.25%エンフルランを2時間投与した。ピリジン前処置、10%酸素下エンフルランを投与群で、P-450含量、アニリン水酸化活性は、それぞれコントロールの61%、62%に有意に減少し、血漿中GOT、GPTの増加、肝組織の中心小葉性壊死を認めた。このP-450の減少肝障害は、ジスルフィラム投与によって抑制された。これらの結果より、ピリジンによって誘導された、P-450 2E1は10%酸素下エンフルラン投与によって減少し、肝障害を引き起こすことが示された。

### 論文審査結果の要旨

エンフルランの肝チトクロームP-450(P-450)に及ぼす影響を調べるために、フェノバルビタールまたは、ピリジンで前処置したラットに、10%または、21%酸素下で1.25%エンフルランを2時間投与し、P-450、血漿中GOT、GPT肝組織検査を行った。

その結果、ピリジン前処置、10%酸素下エンフルランを投与群でP-450含量アニリン水酸化活性は、それぞれコントロールに比較して、61%、62%と有意に減少し、GOT、GPTの増加、肝組織の中心小葉性壊死を認め、P-450の減少が肝障害発生の原因になるなどの重要な知見を明らかにしている。

よって、本研究者は、学位(医学)の資格があると認める。